

令和元年度
社会貢献の取り組み



社会福祉法人 昭徳会

<保育園の取り組み>

事業名	あそぼうかいの開催(子育ての支援と相談)
内容	未就園児とその保護者を対象とし、月 1 回の開催。保育士による絵本や紙芝居の読み聞かせ、手作りおもちゃづくり、手作りおやつ作り、園庭開放などを行なっている。子育て情報を発信したり、育児相談にも対応している。 運動会や夏まつりなどの保育行事にも招待し、参加してもらっている。 ホームページに子育て相談、乳幼児期の食事に関する相談ページを開設している。
事業名	ちびっこ広場の開催
内容	地域の未就園児を対象に遊びの会を開催。リズム遊びや、ふれあい遊び、絵本の読み聞かせなどを楽しんでもらう。夏祭りや運動会等の園行事に参加してもらった。
事業名	ちびっこ人形劇会の開催
内容	地域の親子を招いて、人形劇会を開催している。園児と交流する機会も設け、保育園での子どもたちの姿を見学してもらい、就園への不安解消に努めている。
事業名	子育てセミナーの開催
内容	地域の保護者に向けて、子育てセミナーを開催。外部講師を招いて、子育てに対する不安や悩みの解消につながる講演会を開催している。
事業名	おじいちゃんおばあちゃん遊ぼう会(高齢者との交流)
内容	年9回程度、年長児が近隣の特別養護老人ホームに出向き、触れ合い遊びをしたり、遊戯を披露したりして交流した。

社会貢献事業の取り組み



保育園では、社会貢献事業として様々な子育て支援を行なっています。核家族化が進む中、子育てに悩みながらも、相談する相手が周りにおらず、一人で不安を抱えていたり、情報が散乱する中で子どもの発達の見通しが立たないでいたりする保護者に、地域の中で身近に相談できる場所や子どもの遊び場として利用していただいています。

園開放

毎週第1、第2木曜日は園開放日です。園庭や、絵本コーナーにて親子でゆっくりと遊んでいただきながら、保育士が保護者の育児相談に応じています。

ちびっこ広場

毎月第3木曜日は、「ちびっこ広場」の日です。未就園の親子を対象にリズム遊びや、折り紙、ベビーマッサージなどのプログラムを楽しんでもらうとともに、子育て世代の仲間作りの場として役割も担っています。

七夕祭り吹き流し展



安城七夕祭り

「安城七夕祭り」には地域協賛として、園児と作った吹き流しの作品を出品しています。令和元年度は「おばけ」をモチーフにして作りました。特別賞を受賞しました。



ちびっこ広場地



地域の皆さんと夏祭り！



「ちびっこ人形劇」



ちびっこ人形劇

職員でつくった人形劇クラブ
地域の子ども会や、福祉施設等に出かけ、人形劇や歌や遊びを楽しんでいただきます。



夏祭り

園内で開催される夏祭りには地域の方たちや卒園した子どもたちにも参加してもらっています。ヨーヨー釣りに、おもちゃすくい、ゲームコーナーに盆踊り、町内でも祭りの開催を心待ちにしている子どもも多く、毎年たくさんの人で賑わい盛り上がっています。

「育児講演会開催」



育児講演会開催

地域の保護者を招いて育児講演会を開催しました。光徳保育園の育児支援の取り組みを紹介させていただきました。

○その他にも、地域文化イベントへの参加や、防災訓練への参加、清掃活動等にも積極的に参加しています。

これからも、地域内の一番身近な子育て支援の場として、子どもたちの健やかな成長を支え、保護者皆様の育児不安の解消に努めていきたいと考えています。



光徳保育園
KOUTOKU NURSERY SCHOOL

<児童養護施設の取り組み>

事業名	なごや・よりどころサポート事業への参加
内 容	既存の制度では解決できない地域住民の抱える困難な福祉課題の解決に向けた公益的な事業である。生活費の支援、緊急的に困ったときの援助をすることで、養護施設等を出て大学等へ進学したり、就職する子どもたちの継続的な「よりどころ」となることを目指している。
事業名	地域子ども会への協力
内 容	地域子ども会主催の行事(ソフトボール大会・ドッチボール大会等)への役員派遣及び備品の貸し出し。イベント時に施設設備(会議室・地域交流室)を解放した。
事業名	地域内の清掃活動
内 容	毎月1回、午前9時00分から30分ほど施設周辺の清掃活動を職員で実施している。
事業名	地域防災に関する取り組み
内 容	避難所としての役割を担うことができるよう、緊急時における非常食(1週間分)を備蓄し、緊急時の対応に備えている。またAED設置を公表し、緊急時に活動できるよう周知している。
事業名	「児童虐待防止」オレンジリボンたすきリレー
内 容	児童養護施設・行政職員(市役所・児相)などが主体となり、市内複数のショッピングモールで児童虐待防止についてチラシや啓発グッズを配布し、市民に広くPRを行った。
事業名	里親サロン
内 容	開催日…4月、5月2回、8月、9月、11月、1月、2月の年間8回 事業内容…里親・里子で参加。5月(自立のその後)8月(アンガーマネジメント) 11月(親子クッキング)1月(花育)・2月(自立について考えよう) 《会場》名古屋養育院和室 今FSW・松岡自立支援担当職員も参加。当日参加者21名 《年間参加者》106名 ※昨年度に比し56名増
事業名	見守り支援者:すくすくボランティア養成講座
内 容	開催日…5・7・8・9・11・12・1・2月の年間7回 事業内容…親子を温かく見守り、地域子育て支援と児童虐待予防に繋げることを目的に、市内8区を対象に、講師:前島美津枝氏とさくらが中心になり養成講座を開設。 主催:名古屋市・さくら
事業名	短時間無料託児事業
内 容	地域における公益的な取り組みである。目的としては、核家族化の進行や地域の繋がりの希薄化による保護者の育児疲れを課題に感じ、心理的・身体的負担を軽減してもらうため子育て支援事業のレスパイトとして実施している。 (平成17年より開始:今年度195名利用。昨年度に比し、35名増)

-地域との共生-

地域の一員として、地域のあらゆる方々や一年間お世話になった方々(寄付・各行事等の招待者)を招き、入所児童主体の交流会(餅つきや感謝祭 等)の場を設けることで、日頃の感謝の意を伝えるとともに、施設への関心と理解を深めていただくことを目的としています。

ハチドリチャレンジへの挑戦

法人の基本理念「幸福(しあわせ)」を達成するため、2015年9月国連サミットで採択された「持続可能な開発目標(SDGs)」を通じた取り組みとして1職員1ボランティアを行う「ハチドリチャレンジ」がスタートしました。法人内他施設行事への参加だけでなく、町内会・子ども会等 身近な地域や浸水被害清掃活動・虐待防止啓発活動等 社会に働きかける取り組みをして下さった職員さんもいたので、来年度も引き続き進めていきたいと思っています。



「上：町内清掃」

「下：啓発活動」



令和元年度 感謝祭 * 新型コロナウイルスで中止

例年、お世話になった方々を招き、子どもたちが運営する模擬店・ゲーム等を楽しんでいただくことで、感謝の気持ちを伝えるイベントを開催していましたが、令和元年度は新型コロナウイルスの影響を考慮し中止することとなりました。しかし、御礼の気持ちとして贈呈している感謝状について、個人(2名)へ授与させていただきました。

施設の開放及び設備の貸し出し

地域子ども会への地域交流室・会議室・各種備品(行事関係)の貸し出しを行っています。また、広報誌(こまがたより)によって施設利用を案内して、施設の公益性を発揮するよう努めています。

災害時等の緊急時対応に備えて

大規模災害に備えて、いつでの地域住民の避難場所に備え、非常職員(1週間分・約80名分)の備蓄、各種器具の整備(炊き出し用はそり、発電機、テント、毛布 等)を進めています。



緊急時対応備品



もちつき

＜障害児・者施設の取り組み＞

事業名	退所者のアフターフォロー
内容	施設訪問～平成30年度に退園した利用者6名について、退園後の様子を年 2 回訪問、電話で確認等した。進路先の作業所、成人施設、グループホームと情報交換等を行い、本人の悩み等の相談に対応した。 里帰り～家庭へ帰省できない退園利用者が家庭がわりである小原学園にG・W、お盆、年末年始等で帰省してきた。学園で楽しく過ごし、リフレッシュして進路先に戻っていった。 (令和元年度の利用者は延べ14名)
事業名	給付外就労定着支援
内容	施設から一般就労した地域障害者に対して、継続して就労できるよう、就職先への訪問による本人及び事業所へのアセスメント、事業所支援。来所による相談支援等を給付外で行った。 人数:5人 回数:60回
事業名	福祉サービス外支援
内容	地域に住む障害者(手帳不所持者含む)を福祉サービス外(給付外)で受け入れ、利用者と一緒に活動することで、障害者に生きがい、やりがい、楽しみを提供した。 人数:実人数6名(延日数 114日)
事業名	職場体験等学生受入
内容	特別支援学校や地域の中学校特別支援学級の生徒や保護者を受け入れ、将来を見据えて就労体験及び障害福祉サービス事業の説明、進路相談等を行っている。 ＜特別支援学校＞ (1) 親子見学 3組 6名 (2) 中学部2年見学 26名 (3) 教員社会奉仕体験研修 1名
事業名	地域交流事業「高取すてき発見事業」の実施
内容	地域小学校の、地域の素敵な活動をする場所を取材する「すてき発見授業」に協力。3年生5名及び、教諭を2日間受け入れ「食品(ぱりまる)製造工場」を取材し、実際に利用者と一緒に「食品(ぱりまる)」の製造を体験してもらい、自分たちで作った「食品」を持ち帰ってもらった。
事業名	市内小学校、中学校との定期交流
内容	隔月で地域の小学校で生徒たちと掃除、給食、レクレーションの時間を共にすることで、障がいへの理解・促進を図っている。今ではすっかり生徒さんと利用者が、仲良くなり、ごく自然な形で、生徒さんたちも利用者と接していただけるようになった。

事業名	地域住民への福祉活動
内容	(1) 施設行事(開寮記念祭)開催に伴う施設開放 施設行事を通して、知的障がい者(自閉症者)の地域理解を深めると同時に、知的障がい者の社会的活動(授産製品等の販売、活動紹介等)の一端を担う。また、地域住民の文化活動の発表の機会の場合として施設設備を提供。 (2) 地域の福祉フェスタ(みよし市主催)への参加 施設の活動紹介を行うと同時に、みよしの福祉行事への協力。 (3) 地域文化祭(打越文化祭)への参加 地域の文化祭に、利用者の作品等を出展し自閉症者に対する地域理解の促進を図る。 (4) 地域の中学生と利用者さんとの交流会の実施 みよし北部中学校の福祉教育の一環として、施設利用者さんとの交流活動を実施。 (5) 特別支援学校(高等部)への社会体験教育への協力 施設内の清掃体験を実施。
事業名	地元企業の社員研修受け入れ
内容	(株)中庸スプリング及びおとうふ工房いしかわの新人職員を受け入れ、社会人としての心得、福祉の現状及び連携、企業における社会貢献の意義、人材育成等について説明を行い、その後利用者と一緒に作業体験を行った。 ① 中庸スプリング新人研修 平成 31 年4月 9 日 人数 12 名 ② おとうふ工房いしかわ新人研修 平成 31 年 4 月 12 日人数 8 名
事業名	卒論作成を行うための事業所見学会
内容	愛知文教女子短期大学の卒論作成授業でぱりまる工場の見学会を実施。 ① 日 時: 令和1年5月24日 ② 人 数: 学生5名教員1名
事業名	ぱりまる寄贈
内容	愛知文教女子短期大学主催「アレルギーの子クリスマス会」にぱりまるをプレゼント。 ① 日 時 令和2年1月30日 ② 参加者 19 家族 67 名
事業名	地域の朝市への参加
内容	地域で月に1回開催されている『朝市』に参加し、自主生産品、日用品や衣類などの生活品を販売し、地域の方たちと交流している。
事業名	和太鼓クラブによる交流
内容	和太鼓演奏～地域のお祭りや同法人の行事等へ演奏依頼を受けて、太鼓クラブの活動として参加しています。令和元年度の演奏依頼は6件(内1件は新型コロナウイルス関連で中止)
事業名	短期入所・日中短期入所の無料送迎サービス
内容	施設利用者の中で特別支援学校のスクールバス(施設の利用者と同じコース)を利用している方については、最寄りのバス停から施設間の送迎サービスを行った。

事業名	施設設備の開放
内 容	地域の各種団体主催の研修会会場として開放している。 ・地域の自立支援協議会主催の研修会の実施。(年 4 回実施) ・愛知県知的障害者支援協会主催の研修会を実施している。
事業名	地域の交通安全運動への参加
内 容	交通事故死ゼロの日(毎月実施)および春夏冬の交通安全運動期間中における立哨活動に参加している。
事業名	イエローレシート(イオン主催)キャンペーンへの参加
内 容	「東北の子ども達のために」を合言葉に、イエローレシートの収集活動に参加した。
事業名	チャリティ自動販売機の設置
内 容	日本財団「チャリティ自販機」を施設内に設置し、飲料水 1 本の購入にあたり 10 円を日本財団ドネーション本部に寄付している。
事業名	地域イベント(ハロウィン、バレンタイン)の開催
内 容	ハロウィンイベントを地域の子ども向けに開催した。 事業所に来てくれた子どもたちにお菓子を配り交流を深めた。(参加者:110名) バレンタインイベントを地域の子ども向けに開催した。事業所に来てくれた子どもたちに事業所のチョコレート機で手作りのバレンタインチョコを作ってもらい交流を行った。 (参加者:15 名)
事業名	わくわくフェスティバル
内 容	市の地域福祉の推進を図ることを目的とした、市社会福祉協議会主催の「わくわくフェスティバル」の実行委員会に職員を派遣し、企画運営を行った。 「わくわくフェスティバル」当日には、「ばりまるたません」を出店した。(参加者:3,000 名)
事業名	市内風水害一時避難所・福祉避難所・武力攻撃等における避難所指定登録
内 容	市の福祉避難所に加え、武力攻撃事態等における国民保護のための避難施設としても指定を受け、有事の際には地域住民の避難所として安全を確保している。 令和1年度は台風接近により 2 度風水害による一時避難所開設。 ① 日時:令和 1 年 8 月 15 日 利用者:なし ② 日時:令和 1 年 10 月 12 日 利用者:3 世帯 4 名
事業名	地域清掃活動
内 容	グループホームの利用者及び職員で、地域の清掃活動に参加。又、自主的に近隣地域の清掃を行っている。

【地域貢献】（障害児入所施設）

《アフターフォロー》

1. 施設訪問

施設を退園した一年目の利用者の様子を見に行っています（必要に応じてその後も継続）。その中で、進路先の企業や作業所、成人施設、グループホームとの情報交換、本人の悩み等の相談に対応し、子どもたちを励ましています。



2. 里帰り

家庭へ帰省できない退園利用者が子供時代を過ごした家庭がわりである施設にG・W、お盆、年末年始などで帰省してきます。在園利用者は帰省してきた退園利用者の姿を見て自身の進路に刺激を受け、帰省してきた退園利用者はリフレッシュして進路先へ戻っていきます。

《地域との交流》

和太鼓演奏をはじめ、地域のお祭りや、同法人の行事等へ太鼓クラブの活動として参加しています。



《短期入所・日中短期入所の送迎サービス》

施設の短期入所・日中短期入所の利用者の中で特別支援学校のスクールバス（施設の利用者と同じコース）を利用している方については、猿投神社バス停から施設間の送迎サービスを行っています。



障害者支援施設の取り組み

◆ 地域交流

地域にて第一土曜日に開催されている『ふれあい朝市』に、施設ブースとして参加し、自主生産品(野菜、陶芸品、手芸品)、日用品や衣類などの生活余剰品を販売し、地域の方たちと交流している。他にも四季桜まつり、文化まつり、あんどんパレードなどの地元イベントに参加している。



◆ 地域の小学校との定期交流

地域委員 6 名と利用者 6 名が年 4 回、小学校を訪問し生徒と給食を食べたり、レクレーションをしたりと共に過ごすことで、障がいへの理解・促進を図った。



◆地域の小学校と中学校で「障がいについて考える」授業を実施
「障がいとは何か?」の講義を実施し、障がいがあることでの当事者の苦労や、そのために回りの人たちが本人にどのように接したらよいか等の授業を実施した。生徒からも積極的な質問も飛び、障がいについての理解を深めた。



◆ ふれあい広場☆わんだふる

施設の多目的ホールを開放して、飲み物、スイーツを提供し、地域の方とお茶を飲みながら交流する憩いの場となっている。
また、提供するスイーツはふれあい朝市の出店仲間の方たちから、購入することで、地域の方たちとの繋がりを意識した取り組みとしている。
またステージでマジックショーなどのボランティアさんも積極的に受け入れている。



◆ バザー祭

保護者、職員、地域の方たちからいただいた生活余剰品、利用者が作った農作物や絵画などの創作作品等を販売させていただき施設の多目的ホールでバザー祭を実施した。
「和太鼓演奏」や地元ボランティアサークルの読み聞かせも開催している。



障害者支援施設の取り組み

1. 知的障がい者福祉の理解と地域共存に向けた取り組み

- (1)施設行事(開寮記念祭 10月実施)での地元福祉事業所の授産製品の販売。
- (2)地域行政区に所属するクラブ活動(いいじゃん踊り)の発表機会の提供。
- (3)みよし市主催の福祉総合フェスタに参加。施設の活動紹介および地域住民との交流。
- (4)地域(打越地区)の文化祭に利用者さん作成の絵画を展示し文化交流を実施。



2. 福祉事業所を対象にした研修会開催場所の提供

- (1)みよし市自立支援協議会主催の研修会の実施にあたり、研修会場として年4回施設を開放。



3. 福祉教育への協力

- (1)地域のみよし北部中学校の生徒による福祉施設での課外活動への協力。
- (2)みよし特別支援学校高等部の生徒の社会体験教育への協力。



4. 地域での交通安全運動への参加

- (1)施設所在地近くの交差点(打越)での交通安全立哨活動。
毎月「ゼロの日」及び春・夏・冬の交通安全運動期間中に実施。



5. 日本財団 チェリティ自販機の設置

- (1)施設内に飲料水の自動販売機を設置し、飲料1本につき10円を社会貢献プロジェクトに寄付。



6. 知的障がい児者の療育相談

- (1)施設のホームページに、知的障がい児者の療育等の相談コーナーを設け、必要に応じ情報提供を行う。

障害福祉サービス事業の社会貢献活動

～地域を支える～

- ・ハロウィン・バレンタイン等の各種イベントの開催による地域住民の楽しみの提供、健康自生地登録により、高齢者の健康促進及び憩いの場の提供。
 - ・鬼道祭りや夏祭り等、地域の各種イベントに模擬店の出展等、積極的に参加。
 - ・民生委員を含めた地域ボランティアの積極的な受け入れ。
 - ・地域企業の職員研修の受け入れ。
 - ・行政組織及び、地域イベント等への職員派遣
- 

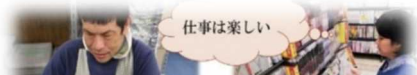


～子どもたちを支える～

- 
- ・地域の小学校の授業単元で、「ぱりまる」製造について授業を担当。
 - ・特別支援学校の生徒を受け入れての仕事体験。
 - ・介護福祉士、教員免許等、資格取得実習受け入れ。



～地域で障がいを持った方を支える～

- ・就労を目指す地域障がい者に対し就労準備のための給付外サービスの提供。
 - ・一般就労している地域障がい者に対し継続した就労ができる様、給付外就労定着支援の実施。
 - ・地域の障がい者や高齢者に対し行事等に参加してもらい(給付外)余暇の充実及びやりがいの提供。
- 



～災害時を支える～

- ・高浜市市民に対する防災フォーラムを、行政及びまちづくり協議会と協力して開催。
 - ・高浜市と風水害一時避難所及び福祉避難所契約
 - ・愛知文教女子短期大学と連携し東日本大大震災で被災した地域の子どもたちに「ばりまる」を寄贈する『届けばりまるプロジェクト』を実施。



<高齢者施設の取り組み>

事業名	就労支援に向けた実習受入れ
内 容	地域の特別支援学校に通っている高校3年生の就労支援に向けた実習を受け入れている。
事業名	職場体験等受入
内 容	市教育委員会の教員初任者や市内の中学生の職場体験の受け入れを行っている。
事業名	市内内中学生との交流
内 容	市内の中学生と施設入居者との交流活動を通して、高齢者と高齢者への関わりについての理解を広めている。
事業名	清掃活動
内 容	定期的に施設近隣地区や道路等の清掃活動を行っている。
事業名	認知症サポーター養成のための講師派遣
内 容	職員が認知症サポーター養成の資格を取得し、地域の認知症サポーター養成 を行っている。（地域の大学、小・中学校など）
事業名	生徒に介護の取組みを伝え福祉への理解を深める
内 容	施設が取り組むターミナルケア、回想法や自立支援介護をはじめとする認知症ケアの実践を生徒に伝え、高齢者福祉に対する理解を深める。日本福祉大学、藤田保健衛生大学、愛知県立桃稜高校において実施した。 ハローワークからの依頼により愛知県立豊田高校と名古屋市立西陵高校で職業講話を実施した
事業名	生涯現役まちづくりの実行委員
内 容	高浜市が取り組んでいる「生涯現役まちづくり」の課題解決チームと健康自生地盛り上げチームに参加し、市民とともに活動している。
事業名	認知症カフェの共催
内 容	他法人と共に、高齢者の居場所づくりの一環として、毎月1回、認知症カフェを実施している。
事業名	地域サロン
内 容	施設の取組みを報告しながら回想法の体験の場を提供している。 同時に地域住民が興味関心を寄せている内容や社会的な問題をテーマに掲げ講演を開催している

事業名	回想法のつどい
内 容	認知症予防の一環として、「回想法のつどい」を開催して、講演や回想法の展示・体験、研究報告、みよし市介護予防協働事業報告等を行っている。
事業名	認知症高齢者を支える家族の集いと介護教室
内 容	高浜市内の事業所と共同で高齢者を支える家族の集いを開催する。「高齢者の運転免許自主返納について」講師（碧南警察署交通課）を依頼し講演を開催した。
事業名	福祉フェスタ
内 容	社会福祉協議会主催のもと、市内の福祉事業所と共に個々にブースを構え、来場者との地域交流を図りながら、福祉施設への理解を深めていただくため、施設の取組みの説明や回想法の展示、回想法の体験の場を提供している。
事業名	スポーツイベント・ボランティア
内 容	地域のイベントやスポーツフェスタへ補助者（スタッフ）として職員を派遣した。受付係や種目の補助、典礼、器具の準備、決勝記録等を行う。
事業名	第9回市民公開セミナー
内 容	特別養護老人ホームに対する理解を深めるために施設の取組みを報告する。地域住民が興味関心を寄せることや社会的な問題をテーマに掲げ講師を依頼して講演会を開催した。 ①開催日 令和元年12月1日（日） ②場 所 いきいき広場2階ホール（高浜市春日町） ③内 容 「誰もが迎える最期のとき～大切にしたいものは何ですか～」 講演終了後「もしバナゲーム」を実施 ④講 演 石垣靖子 氏 北海道医療大学名誉教授 ⑤施設発表 ポスターセッション形式で掲示
事業名	地域団体の活動に参加
内 容	毎月開催される地域の清掃活動「渡し場かもめ会」に参加する。今年度より年間を通して清掃活動が開催され、毎月参加することができた。 地域団体の開催するイベントに施設を提供したり運営に協力している。 「渡し場まつり」「里海づくり」「海の生き物調査」「青パトロール」「盆踊り大会」「ソフトボール大会」「駅伝大会」「さわやかフェスタ」「コグニタウン事業」「認知症キャラバンメイトとしてサポーター養成講座開催」等。 定期的に参加される地域団体の会議に参加している。
事業名	エコキャップ運動
内 容	施設内でペットボトルのキャップを回収している。

事業名	社会福祉法人等による生計困難者に対する利用者負担軽減
内容	低所得で生計が困難な方に対して、介護保険サービスの利用促進を図るために、介護サービスを行う社会福祉法人等がその社会的な役割の一環として利用者負担額を軽減している。
事業名	昭和で元気になる会
内容	高浜市市民予算枠事業「協働推進型」として7年目の活動を継続している。回想法を活用しながら高浜市内の高齢者の介護予防、認知症予防、閉じこもり予防、地域の伝承の一助を担うことを目的としている。認知症カフェ「昭和で元気になるカフェ」は継続し、年間10回開催を計画していたが、新型コロナウイルスの影響で3月は中止となった。また、固定した場所のみでは参加が困難な市民もいると感じ、市内のほかの地域においても開催した。
事業名	緊急入所者・緊急利用の受け入れ
内容	保険者およびケアマネージャー等からの緊急入所依頼等に、速やかに対応している。
事業名	認知症予防スタッフの活動
内容	高浜市内で展開している認知症予防事業である「コグニタウン事業」に運営スタッフとして参加し、国立長寿医療研究センターの活動にも協力した。
事業名	集会室・談話室の地域開放事業
内容	町内会役員会及び総会、渡し場かもめ会役員会、渡し場祭りに当施設集会室や談話室を無料開放している。また他に地域の活動に集会室を利用していただいた。
事業名	市民防災フォーラムの開催
内容	高浜市、高浜市社協、高浜市防災リーダーと連携し、障害者や高齢者、子どもたちを含む、市民全員が安心して暮らせる町作りを目指し、色々な体験や講和をとおして防災について学ぶ機会の企画運営。 ① 開催日:令和1年9月21日 ② 場所:ケアハウス高浜安立 ③ 内容:起震車、防災ビンゴ、ワークショップ、炊き出し、煙のトンネル、消火訓練、車イス体験、避難所体験、AED講習、防災クイズラリー等 ④ 参加者:310名

事業名	生涯現役のまちづくり「健康自生地」に登録
内容	「高齢者が自ら出向いて活動を行える場所」を健康自生地として認定しており、これに積極的に参加することにより高齢者の引きこもり防止並びに介護予防に繋げている。 〈特別養護老人ホーム〉「回想法への参加」に登録し、住民の参加を受け入れる。 〈経費老人ホーム〉施設の喫茶、健康体操クラブ・ビデオ鑑賞会に登録している。 〈養護老人ホーム〉 奇数月の第４日曜日、デイサービスの休業日にデイルームを開放し地域の方と交流しながら通信カラオケを楽しんでいる 〈授産施設〉 施設の一部を開放し、脳と体の健康チェックの拠点として血圧計、体重計を設置した。(1日平均7名が訪れている、年間延べ1,806名)
事業名	高浜市いきいきマイレージ事業に協力
内容	〈特別養護老人ホーム〉 元気高齢者応援事業として、福祉施設でのボランティア活動に際し、1時間1ポイントのスタンプを押印する居場所として登録し、事業に協力している。 〈養護老人ホーム〉 平成23年度4月から地域の元気な高齢者のパワーをお借りして、施設内で行われる茶道クラブの先生2名とお楽しみクラブでの将棋の対局者1名が来設し、入所者との時間を過ごした。活動後にはマイレージとしスタンプを押し、マイレージ事業に参加した。
事業名	ゲストルームを高齢者の緊急避難に利用
内容	市内在住の高齢者(自立)が何らかの事情により、緊急避難が必要となった場合に利用できるようゲストルームを提供している。
事業名	ひなた祭り
内容	毎年10月に「秋祭り」を開催している。入所者のご家族様をはじめ、日頃お世話になっている地域の方々をお招きして、露店やゲーム、外部講師の講演や抽選会を実施している。
事業名	生活困窮者レスキュー事業
内容	大阪しあわせネットワーク(オール大阪の社会福祉法人による社会貢献事業)に協賛し、制度の狭間の生活困窮など様々な生活課題を抱える人々に対して、施設から総合生活相談員(コミュニティーソーシャルワーカー)として登録し、大阪府社会福祉協議会所属の社会貢献支援員と連携しワンストップ総合生活相談を行っている。 公的制度やサービス等による支援が受けられず、生命に関わる緊急・窮迫した制度の狭間の生活困窮状況に対しては、施設長の決済により、おおむね10万円を限度とした「経済的援助(現物支給)」による支援を実施する。 (令和元年度実績 3件(経済支援1件、成年後見申請支援1件、家計相談1件))

特別養護老人ホームの社会貢献活動

～認知症になっても安心して地域で生活できる地域をめざして～

安立荘では、みよし市長寿介護課や他の事業所と協働しながら、市内で生活されている方々を対象に、社会貢献活動を継続して行っています。高齢者の方には、回想法ケアを通して認知症予防や引きこもり予防、居場所作り等を目的に取り組んでいます。在宅で介護をされている方には、不安を安心に繋ぐことが出来るよう、介護方法や介護での不安に耳を傾けながら、施設職員が持っている知恵や知識等のアドバイスをしています。また、これから介護を担う可能性のある子供たちには、他の事業所と共に各小学校を回りながら、認知症の知識や認知症の方への理解を深めてもらえるような取り組みを行っています。



『地域に向けて』

- 安立荘サマーフェスタ
- 地域サロン
- 回想法のつどい
- ショートステイ回想法



『みよし市・事業所との協働』

- ～みよし市との協働事業～
- みよし市発「懐かし想ひ出列車」
- ～みよし市、他事業所との協働～
- 認知症カフェ
- 認知症サポーター育成講座



『地域行事への参加』

- みよし市総合福祉フェスタ
- 徘徊高齢者搜索模擬訓練
- 打越文化祭



特別養護老人ホームの社会貢献活動

昭和で元気になる会

高浜市市民予算事業「協働推進型」として6年目の活動を継続している。高浜市と連携して市民団体「昭和で元気になる会」を立ち上げ、市内で初となる認知症カフェ「昭和で元気になるカフェ」を実施し、地域の高齢者の方に回想法を体験していただいている。

生涯現役のまちづくり「健康自生地」

高浜市内に「高齢者が自ら出向いて活動を行える場所」を健康自生地として認定しており、高浜安立荘は、「回想法への参加」を登録している。元気高齢者応援事業として、福祉施設でのボランティア活動に際しスタンプを押印する居場所として登録し、事業に協力している。



第9回

高浜安立荘「市民公開セミナー」開催

地域住民が興味関心を寄せることや社会的な問題をテーマに掲げ、市民の集いやすい「いきいき広場 2 階ホール」で当施設発信の講演会を開催している。あわせて高浜安立荘に対する理解を深めるために施設の取り組みについても報告している。

「誰もが迎える最期のとき

～大切にしたいものは何ですか～

講演終了後「もしバナゲーム」を実施

講師 石垣靖子北海道医療大学名誉教授

施設発表 ポスターセッション形式で掲示



特別養護老人ホームの社会貢献活動

～地域の方とのなじみの関係づくり～

- ・小原西区のふれあいサロンに年 10 回(各 1 名)参加し、体と頭の体操など行事参加と支援の実施。
- ・地元沢田町内の立哨活動(年 4 回：21 名)への参加。
- ・小原スポーツフェスタ(3 名)への開催協力
- ・さくらカフェ(認知症カフェ)を 2 月に 1 回開催。



沢田町の立哨活動



小原スポーツフェスタ

～介護を体験、介護の魅力を伝える～

- ・「地域発見隊」として小原中学生 1 名受入れ。
- ・教員免許特例法による介護体験にて中京大学 6 名受入れ。
- ・小原中部小学校全校児童によるふれあい交流。
- ・日本福祉大学 2 年生 9 名、フィールド実践演習受入れ。



日本福祉大学フィールド実践演習



小原中部小ふれあい交流

養護老人ホームの社会貢献活動

◇健康自生地の認定（認定番号 25）◇



高浜市の取り組みとして、地域の皆さんと触れ合える場所を「健康自生地」とし認定しています。当施設もその一つで、奇数月の第4日曜日、デイサービス休業日に場所を開放し、カラオケを通し交流を行っています。

当入所者も地域の一員として、毎回、皆様との交流を楽しんでいます。



◇ひなた祭り◇

第19回「ひなた祭り」を10月に行いました。あいにくの天候でしたが、早めに室内での開催を決定したことにより、シュミレーションや安全対策を万全にし、地域の方を迎える事ができました。室内でも神輿やちんどんが練り歩き、露店物を召上がり、話にも花が咲きました。

地域の方が毎年楽しみにしている講演や抽選会も大盛況にて終了しました。



◇◇地域清掃活動◇◇

職員が入所者の方たちと、気候の良い時を選んで、施設前の公園や河川沿いのゴミ拾いを行います。

その名も我ら「お掃除し隊！」意外とゴミがあることに驚かされると共に、キレイになったことを喜び、すがすがしい顔で施設に戻ってみえます。そして地域清掃に加え、併せて日光浴も完了です!!

